

矛盾を定式化して 有効な発明原理を知る

『TRIZ 実践と効用』シリーズ 第2A巻

『新版矛盾マトリックス Matrix 2010 (技術一般用)』

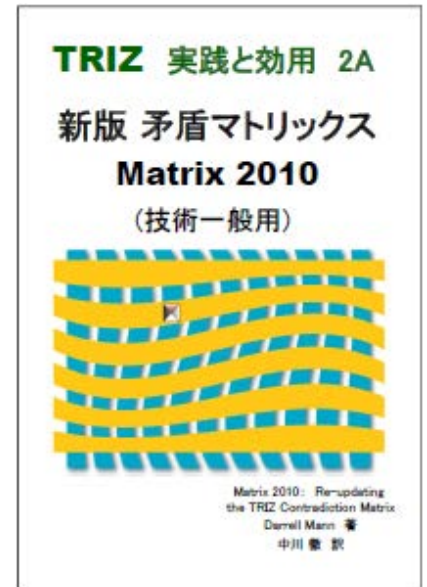
Darrell Mann著、中川 徹 訳

2014年 4月刊行、クレプス研究所

ソフトカバー、B5版、154頁、定価 2,600円＋税

ISBN978-4-907861-03-2 (製本版)

好評発売中



TRIZの創始者アルトシュラーが構想し紙と鉛筆で創り上げた古典版矛盾マトリックスを、刷新し、Mannらが 1985年以降の米国特許全件をサーベイして完成させた、最新版の矛盾マトリックスです。

内容面の紹介・解説 => 『TRIZホームページ』内 <http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jlinksref/CrePS-Books/2A-Mann-Matrix2010-2014/2A-Mann-Matrix2010-140414.html>

矛盾マトリックスの構想は次のようです。

システムの諸側面(パラメータ)を標準化して分類し、問題を「ある側面を改良しようとする、別の側面が悪化して、うまくいかない」という矛盾の形式で捉えます。

この各問題パターンで、今までの発明者たちが使って成功したアイデアを整理して、40の発明原理で示そう、というのです。1971年に完成した古典的矛盾マトリックスは、39のパラメータを使い、各マス目に最もよく使われた発明原理4個を示しました。Mannらの最新版は、パラメータを50に拡張し、各マス目に9個程度までの発明原理を示しました。

悪化して困るパラメータ

改良したいパラメータ

	1	2	...	50
1				
2				
...				
...				
50				

i, j,
s, x

よく使われた発明原理

科学技術が進歩し、新しい分野・問題領域・解決法ができたため、矛盾マトリックスの中身も発展しています。問題を(技術的)「矛盾」として捉え、発明原理をヒントとして使う、TRIZの重要な方法です。

定価：製本版： 定価 2,600円 + 税 208円 = 2,808 円
DL版： 定価 1,800円 + 税 144円 = 1,944 円
両方同時： 定価 3,600円 + 税 288円 = 3,888 円

購入サイト (製本直送 + デジタルダウンロード)

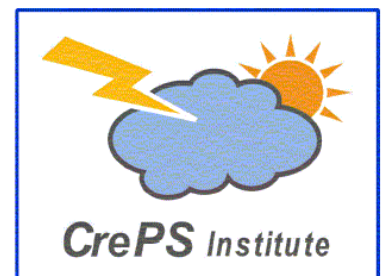
サイト：DLmarket
<https://www.dlmarket.jp/>



販売ページ (DLmarketサイト内のクレプス研究所のページ):
https://www.dlmarket.jp/manufacture/index.php?consignors_id=10832

クレジット支払、銀行支払(先払い)可。書店販売はしていません。

発行所:



クレプス研究所 (代表：中川 徹)
277-0086 千葉県柏市永楽台3-1-13
Tel & FAX: 04-7167-7403
Eメール: nakagawa@ogu.ac.jp

本書購入の方に、A2サイズのシート2枚(Matrix 2010、パラメーター一覧、発明原理一覧)(非売品)を無料でお送りします。ご希望の方は購入書(版)名、購入日、送付先住所、氏名を、Emailで発行者までお知らせください。

中川 徹 (大阪学院大学名誉教授)
公共サイト『TRIZホームページ』編集者
www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/